

支部ニュース

(公社) 神奈川労務安全衛生協会
相模原支部発行
相模原市中央区中央3-8-8
(桐生ビル 2F)
TEL 042-751-9396

平成27年度 全国安全週間を迎えるにあたって

準備期間 6月1日～30日 本週間 7月1日～7日



相模原労働基準監督署
署長 高山 博光

平成24年3月までの2年間、相模原労働基準監督署・次長として勤務した折には皆様方に大変お世話になりましたが、また此の度、4月1日付けで相模原労働基準監督署長に着任致しました。日ごろから、(公社)神奈川労務安全衛生協会 相模原支部 会員事業場の皆様方には、当署の行政運営への多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昭和3年以降、88回目を迎える今年の全国安全週間は、

**「危険見つけてみんなで改善
意識高めて安全職場」**

というスローガンのもとで7月1日から7日までの間、展開されます。

平成26年の当署管内の全産業における休業4日以上の労働災害件数は550件(内 死亡者数: 5人)と、平成25年の514件(内 死亡者数: 4人)を上回って36件(+7.0%)増加しており、中でも製造業(+16件、平25:121→平26:137)、運輸交通業(+19件、平25:78→平26:97)における災害が増加

の主要因となっており、また産業全体の死亡労働災害についても1名増(平25:4→平26:5)という極めて残念な状況にあります。

私ども行政は、ただ労働災害の数を憂うのではなく、取り返しのつかない命や健康の喪失を1つでも減らすための取組を進めていますが、その取組を望ましい結果に繋げるにはやはり、神奈川労務安全衛生協会をはじめとする労働災害防止関係団体の皆様の御協力が必須です。第12次労働災害防止推進計画(平25～29)の3年目となる今年は、是非とも死亡・重篤災害「ゼロ」を実現し、さらに「死亡者数の15% (建設業は20%) 減少」、「休業4日以上死傷者数の15% 減少」という神奈川労働局の12次防の目標達成に向け、神奈川労務安全衛生協会 相模原支部と会員事業場の皆様、そして私ども行政が一体となった取組を一層強化し、行政のかけ声だけで終わらないための工夫をしていきたいと考えています。

本年度の安全週間・準備期間(6/1～6/30)と安全週間が、各事業場での取組の一層の発展の好機となることを切に願っております。

第88回 全国安全週間

相模原



本週間

7月1日⇒7日

準備期間

6月1日⇒30日

「危険見つけてみんなで改善

意識高めて安全職場」

全議案満場一致決定！

平成27年度 支部定時総会

4月24日(金)15時30分より相模原市立産業会館にて平成27年度相模原支部定時総会を開催しました。

総務部長会社を担当しているキャタピラージャパン(株)久本氏の開会挨拶に続き、議長に日本電気(株)濱口氏、書記に三菱重工(株)の、私高岩が選出され、議事に入りました。

金沢事務局長より平成26年度事業報告、平成26年度収支決算報告「正味財産増減決算」報告を行い、続けて日産自動車(株)川瀬氏より会計監査報告が行われました。報告後、審議に入りましたが、特段の意義もなく報告された全議案が満場一致で承認されました。



引き続き金沢事務局長より平成27年度事業計画(案)、平成27年度予算(案)「正味財産増減予算」が提案され満場一致で承認されました。議長・書記解任の後、キャタピラージャパン(株)島崎支部長及び(公社)神奈川労務安全衛生協会本部常務理事の橋本氏よりご挨拶がありました。最後に御来賓を代表して相模原労働基準監督署高山署長より着任のご挨拶とご祝辞を賜り、定時総会は滞りなく終了しました。

(総務部会 編集委員 高岩 記)



平成27年度 相模原支部役員体制

*26年度に引き続き宜しくお願いします。

部	役職名	事業場名	部会長会	部	役職名	事業場名	部会長会
総務部	支部長	キャタピラージャパン(株)	○	労務部	労務部長	(株)昭和真空	○
	支部長代行				副労務部長	日本板硝子(株)相模原事業所	○
	副支部長	日本電気(株) 相模原事業場	○		幹事	東京化学塗料(株)相模原第一工場	
	総務部長				〃	日本山村硝子(株)東京工場	
	副総務部長	三菱電機(株) 半導体・デバイス業務部相模事務所	○		〃	(株)三越伊勢丹 伊勢丹相模原店	
	幹事	東ブレ(株) 相模原事業所			〃	芦穂崎工業(株)	
	〃	三菱重工業(株)相模原製作所			会計監査	協栄産業(株)	
	会計監査	日産自動車(株)相模原部品センター	○		衛生部長	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	○
安全部	安全部長	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	○	副衛生部長	富士工業(株)	○	
	副安全部長	KYB(株) 相模工場	○	幹事	スリーエムジャパン(株)相模原事業所		
	幹事	昭和電線ケーブルシステム(株)相模原事業所		〃	(株)オハラ		
	〃	相模原機械金属工業団地協同組合		〃	相模原協同病院		
	〃	大和製罐(株)東京工場		〃	(株)旭商会		
	〃	(株)ニフコ 相模原工場		〃	峡の原工業団地協同組合		
	〃	アイダエンジニアリング(株)		〃	(株)ニコン 相模原製作所		
	〃	(株)バンテックセントラル		〃	北里研究所北里大学病院		
会計監査	城山工業(株)		会計監査	菱重エステート(株)相模原支社			

『我が社の安全週間』

凸版物流(株) 相模原事業所

弊社は、凸版印刷(株)並びに同社の関係会社の製品物流部門を統合、貨物運送取扱業と倉庫業を目的として1988年7月に設立した会社で、全国に42の拠があります。当相模原事業所は、凸版印刷(株)の製造部門である(株)トッパンパッケージプロダクツ相模原工場内にあり、工場で印刷される紙器や液体複合容器等のパッケージ製品の保管・荷役・輸配送手配を行っています。

それでは、当事業所の安全の取り組みについて紹介致します。

輸送の安全確保は運送事業の根幹をなすものであり、お客様に信頼される安心・安全な輸送サービスの実現が重要かつ不可欠であると考え、全員参加で日々の安全活動に取り組んでいます。当事業所の基本となる安全衛生・防火防災活動(5S・KYT・リスクアセスメント・安全パトロール・健康診断・産業医巡視・総合避難訓練・安全衛生委員会等)は工場と連携した活動を展開しております。

事業所独自の安全活動としては、国交省の「運輸安全マネジメント制度」に準拠し、各法令に基づいた管理を乗務員に対して実施しており、日常管理は「点呼記録表」を基に対面で出庫時、帰庫時に健康・飲酒の確認を行い運行管理の徹底を図り、更に安全運転の意識高揚を継続させるためN A S V A(自動車事故対策機構)の運転者適正診断を全乗務員に受診させ、診断結果を基に自らの運転技術の長所・短所を自覚させ、交通事故防止のために必要な運転行動や安全運転のための留意点を定期的に再認識させています。また、自社車両の全てに2カメラ式ドライブレコーダーを搭載し、帰庫時に「速度・急制動・加速・旋回」等のデータにより安全指導を実施しています。

安全週間期間中の特別な取り組みとしては、フォークリフト運転業務従事者を対象に技能講習会により走行・荷役の基本操作の徹底指導を行っています。更に、トッパングループ全体が

利用できる研修センター内の“安全道場”にて危険を体感し、安全意識を高める取り組みを実施しています。今後も年に一度の全国安全週間をうまく活用し、社員一人ひとりの安全意識の向上に繋げ、全社一丸となって無事故無災害を継続して参ります。

(凸版物流(株) 相模原事業所 物流部 萩原 記)



フォーク装置構造教育



フォーク実技指導訓練



体感機



不動産サービス

- 企業保有不動産に関するご相談
(提携司法書士、税理士、不動産鑑定士等の専門集団とともに所有不動産再活用のご相談に応じます)
- 貴社社員の不動産売却・購入に関する相談

ビジネスサポートサービス

- 法人様の社内郵便、警備、清掃、緑化管理の委託業務
- その他 名詞作成、コピーサービス、ビジネスマナー研修・企画開催

総合福祉サービス会社として
お客様のさまざまなニーズにお応えします

～お気軽にご相談下さい～

商品サービス・メルコツアーリスト

- 出張等に関するJR券、国内・海外航空券ご手配
- 職場旅行及び各種パーティ等の企画ご手配
- 法人様販促品及びお中元、お歳暮等のご手配
- 企業内売店の企画及び運営

三菱電機グループ 三菱電機ライフサービス株式会社
〒252-0212 相模原市中央区宮下1-1-57
TEL 042-779-5504 (代表) FAX 042-779-5722
URL <http://www.mdlife.co.jp>



平成26年の労働災害

相模原労働基準監督署

平成26年の相模原労働基準監督署管内における休業4日以上労働災害による死傷者数は、550名でこのうち死亡者は5名でした。死亡災害の発生した事業場を業種別にみると、製造業1名、建設業2名、運輸交通業1名、商業1名でした。

死傷者の数は、平成25年の514人と比較して7.0%の増加となり、平成25年は平成24年の578人から11.1%の減少をみたところですが、平成26年は増加に転じました。

業種分類別では、全業種の550名のうち多い順に製造業137人（全業種の25%）、運輸交通業97人（同17%）、次いで建設業76人（同14%）となり、前述したとおりそれぞれの業種で死亡災害が発生しています。

事故の型別では、「転倒」が最も多く全体の25.8%、次いで「墜落・転落」が14.7%、「動作の反動、無理な動作」が12.7%となっています。平成25年は「はさまれ、巻き込まれ」が最も多い26%でありました。

「転倒」は全国的にも最も多い災害であり、「転倒」による休業4日以上の死傷者数は、年間26,982人で、前年（平成25年）から1,104人増加しています。神奈川県全体としても同じく最も多い災害で、休業4日以上の死傷者数は昨年は1,553人、転倒で死亡した人が1名おり、神奈川県においては、平成20年からはほぼ毎年（平成22年以外）「転倒」による死亡災害が発生しています。

厚生労働省では、この状況を踏まえて、平成27年1月20日から12月31日までを「STOP！転倒災害プロジェクト」と称して、転倒災害防止に向けたさまざまな活動を展開しています。

当署における傾向（災害発生業種）

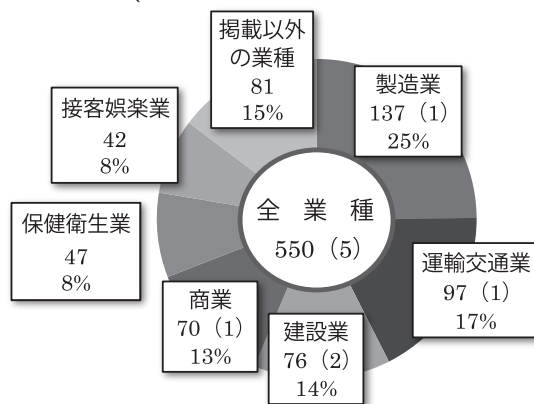
神奈川県における平成26年の労働災害の発生件数を業種別にみますと、多い順に、小売業、道路貨物運送業、建築工事業、社会福祉施設、清掃・と蓄業、飲食店、食料品製造業となっています。

相模原市においては、平成26年の労働災害の発生件数の多い業種の順に、道路貨物運送業、

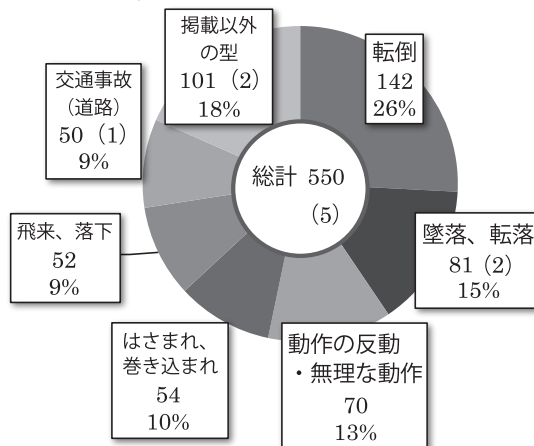
小売業、食料品製造業、建築工事業、社会福祉施設、清掃・と蓄業、飲食店となります。

平成25年から始まった「第12次労働災害防止計画」においては、「第三次産業」（特に小売業、社会福祉施設、飲食店）、「陸上貨物運送事業」を、災害件数を減少させるために重点的に対策を行う業種としています。また、「製造業」と「建設業」は、重篤度の高い（災害が発生すると重い災害となる）労働災害を減少させるための重点業種として掲げられています。前述のとおり、相模原市においては、重篤度の高い災害が発生するとされる製造業と建設業において災害が発生する割合が大きくなっています。

平成26年 業種別労働災害発生状況
(休業4日以上の被災労働者数 [名])
() は死亡者数で内数



平成26年 事故の型別労働災害発生状況
(休業4日以上の被災労働者数 [名])
() は死亡者数で内数



地域医療支援病院 管理型臨床研修病院 日本医療機能評価機構認定病院 高精度放射線治療センター併設 がん診療拠点病院



神奈川県厚生連

相模原協同病院

診療科目 内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/小児科/外科/整形外科/形成外科
美容外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/泌尿器科/皮膚科/眼科
耳鼻咽喉科/放射線科/麻酔科/歯科口腔外科/リハビリテーション科/人工透析

〒252-0143 相模原市緑区橋本2-8-18 TEL 042(772)4291(代) FAX 042(771)6709
ホームページ: <http://www.sagamiharahp.com> E-mail: postmaster@sagamiharahp.com

監督署からのお知らせ

1 熱中症予防対策について

平成26年に神奈川県において熱中症により死亡した労働者は1名でした。平成25年は3名で平成24年は0名でした。

平成25年に全国で熱中症により死亡した労働者は30名でした。そのうち6月に1名死亡しています。6月に熱中症で死亡した労働者は、平成22年は2名、平成23年は5名、平成24年は0名でした。(いずれも全国統計)

「熱中症」は、労働者を含めた関係者が正しい知識と認識を持つことにより防ぐことができます。

毎年、この時期になりますと熱中症予防についてお伝えしているところですが、正しい知識と認識がなかったことから初期の対応を間違え、死亡、重症化してしまう人が後を経ちません。

○熱中症で死なせないために

熱中症が疑われたらすぐに医師による診察を受けさせて下さい。

医師の診察を受けさせるまでの間、被災者を一人で放置せず、水分や塩分を補給させたり、体温を下げる措置を講じて下さい。

「職場における熱中症の予防について」平成21年6月19日付基発第0619001号をご確認ください。安全衛生情報センター(中央労働災害防止協会) <http://jaish.gr.jp/> 法令・通達(検索)で確認できます。

神奈川県労働局ホームページ「職場における熱中症予防対策」を参考にしてください。

http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/hourei_seido/neccyuusyou.html

2 改正安全衛生法に基づくストレスチェックについて

平成26年6月25日に公布された労働安全衛生法の一部を改正する法律により、新たに設けら

れた「ストレスチェック制度」の具体的な内容や運用方法を定めた省令(労働安全衛生規則の一部改正)が公布されるとともに、告示、指針(心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき処置に関する指針)が本年4月15日に公表されました。

※ストレスチェック制度とは、労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)や、検査結果に基づく医師による面接指導の実施などを事業者に義務付ける制度(従業員50人未満の事業場については施行後、当分の間努力義務)。平成27年12月1日から施行。

【省令、告示、指針のポイント】

〈省令〉

ストレスチェックの実施頻度、検査すべき3つの領域、ストレスチェックの実施者となれる者、結果の記録の作成・保存方法、一定規模の集団ごとの集計・分析、ストレスチェック結果に基づく医師による面接指導の実施方法、労働基準監督署への実施状況に関する定期報告などについて定めています。

〈告示〉

ストレスチェックの実施者となれる者のうち、看護師、精神保健福祉士が修了すべき厚生労働大臣が定める研修の科目、時間を定めています。

〈指針〉

衛生委員会の役割、ストレスチェックに用いる調査票、高ストレス者の選定方法、結果の通知方法と通知後の対応、面接指導結果に基づく就業上の措置に関する留意事項、集団ごとの集計・分析結果の活用方法、労働者に対する不利益取扱いの防止、労働者の健康情報の保護などについて定めています。

「ストレスチェック制度」を含む改正労働安全衛生法についての厚生労働省のホームページをご確認ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000082587.html>

職場での健康管理を応援します

地域産業保健センターは、労働者数50人未満の事業所で働く方々に対し、産業保健サービスを無料で提供する機関です



こんな時にご利用下さい

- ※ 健康診断結果に基づく事後措置
- ※ メンタルヘルス不調者への相談
- ※ 長時間労働者に対する面接指導
- ※ 社員の健康管理に関する相談

相模原地域産業保健センター

〒252-0131 相模原市緑区西橋本5丁目3-21 緑区合同庁舎2階 相模原北メディカルセンター事務局内

TEL:042-703-3000

FAX:042-703-3001

平成27年度の労働安全衛生法に基づく 免許試験神奈川地区出張特別試験実施の案内

試験日：7月26日(日)

試験会場：国立学校法人横浜国立大学
常盤台キャンパス

試験の種類と試験時間：

- ・第一種衛生管理者13：30～16：30
- ・第二種衛生管理者13：30～16：30

受験申請書の提出先と提出期間：

- ・(公社)神奈川労務安全衛生協会

郵送：6月1日～6月5日(消印有効)

窓口持参：6月8日～6月12日

(9:00～12:00、13:00～16:00)

*出張試験案内及び受験申請書は、相模原支部に準備しています。(受験料：6,800円・非課税)

当面の事業予定

◎安全管理者選任時研修

6月24日(水)と25日(木)の2日間

会場：相模原市民会館

◎熱中症予防研修

7月7日(火)

会場：相模原市民会館

◎相模原労働災害防止団体連絡協議会

7月17日(金)

会場：相模原労基署

◎衛生推進者養成講習

8月6日(木)

会場：相模原市民会館

◎労働衛生週間相模原地区推進大会

9月4日(金)

会場：相模原市民会館

◎KYTリーダー養成研修会

9月17日(木)

会場：相模原市民会館

新規加入事業場紹介

平成26年4月1日入会

- ・一般財団法人 あんしん財団
- ・株式会社 大飛
- ・有限会社 山和印刷

どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

伊勢丹相模原店は今年の9月25日で開店25周年を迎えます。1990年に相模原の地に開業以来、地域の皆様に支えられ25年という節目の年を迎えることができますことを従業員一同とても嬉しく感じております。ご記憶にある方もいらっしゃると思いますが、開店当時は高嶋政宏・西田ひかるら豪華キャストによる「デパート夏物語」の舞台としてドラマの撮影にも使用されました。当時は効率重視の新宿本店など従来の百貨店に対して環境を重視した店づくりで、ゆったりとお買物を楽しんでいただけるよう建物の中央に大きな吹き抜けを設けるなど、一見ムダとも思えるほど効率を度外視した新しいコンセプトの百貨店として業界からも注目を集めていました。

かつては小売業の雄と呼ばれた百貨店業界もバブル経済の崩壊やリーマンショック、アウトレットや郊外型ショッピングモールなど他業態との厳しい競争、また近年ではインターネットの劇的な普及によるネット通販の急成長などもあり苦戦を強いられております。このような環境にありながらもご愛顧いただいた地域の皆様に感謝の気持ちを込め、今年1年間を「25周年イヤー」として様々な企画を計画中です。

その一つとしてオリジナルマスコットキャラクター「ピカタン」が4月1日に誕生しました。互いにないものを求めて惹かれ合い、街と伊勢丹が互いに輝く関係をイメージし、開店当初から使用している太陽と月のシンボルマークをモチーフに、絵本作家の米津祐介氏によって生み出された「ピカタン」が伊勢丹相模原店の開店25周年を「ピカッ」と明るく盛り上げていきます。皆さまもぜひピカタンに会いに来てください。全従業員が左胸に25周年の缶バッジを付けて皆さまをお迎えいたします。

どうぞよろしく願いいたします。

(労務部会編集委員 草津 記)

見なおしましょう身近な環境


- ◎作業環境測定 ◎アスベスト測定
- ◎排ガス測定 ◎排気装置の設計・施工
- ◎土壌調査・浄化工事 ◎水質分析
- ◎局所排気装置の定期自主検査代行
- ◎その他、各種分析測定

その他事業内容

土木・建設・外構・解体工事
住宅建築・リフォーム工事

作業環境測定 機関登録 第14-45号
計量証明事業登録 濃度32号・音圧レベル第4号
振動加速度レベル第17号
土壌汚染状況調査 指定調査機関 環2003-1-552

三菱重工業株式会社直系

 **菱重工ステート株式会社**
相模原支社・ダイヤ環境測定センター

〒252-5293 相模原市中央区田名3000(三菱重工業(株)内)
TEL 042-762-1035 FAX 042-762-7740
ホームページ <http://www.rje.co.jp>